

白岡市部活動フォーラム参加報告について

- 1 期 日 令和4年12月17日(土)
- 2 場 所 白岡市役所 白岡市立白岡南中学校他
- 3 主な出席者 白岡市長 藤井栄一郎 氏
 白岡市教育長 横松 伸二 氏
 日本教育実践研究所長 長沼 豊 氏
 (株)スポーツデータバンク 石塚 大輔 氏
 埼玉県スポーツ局専務理事 久保 正美 氏



4 内 容

(1) 講 演 長沼 豊 氏

テーマ：「部活動の地域移行を三步前へ」

- 内 容 ・地域移行の背景は、少子化と働き方改革。持続可能な形の検討。
 ・地域移行は、生涯学習の視点での「まちづくり」として進めていく。

(2) 事業説明・実践報告 石塚 大輔 氏（白岡市の取組を支援している民間企業代表）

令和4年度、白岡市では、篠津中学校、青莪中学校、白岡南中学校、白岡中学校の4校をモデル校として10の部活動（部活動9、文化部1）と合同部活動（ダンス／プログラミング）を実施している。指導者は、白岡市内のみならず、近隣の地域指導者が白岡市の人材バンク「白岡ペアーズバンク」に登録し、地域クラブ活動の指導にあたっている。

【地域クラブの実施状況】

活動拠点の学校	部活動
青莪中学校	ソフトテニス部 バスケットボール部 卓球部
白岡南中学校	陸上部 ソフトボール部 ソフトテニス部 卓球部 ダンス部
各校持ち回り	剣道部 吹奏楽部

(3) パネルディスカッション（パネラー：横松教育長、久保氏、長沼氏、石塚氏）

【主な話題】

- ・子ども目線で考える。（平日と休日を分けることにデメリットはないか、大会参加などで不利益はないかなど）
- ・中体連がクラブの大会参加を認めるかが大きなポイントである。
- ・現在のスポーツ環境等を活かしていくためにどのような制度が作れるか考える。
- ・学校は、地域の核であり、クラブとしても学校との関わりは切り離せない。それぞれの地域に合わせたスポーツ環境づくりを進めることが大切である。そのためにも、まずは地域、学校の実態を把握することから始めてほしい。
- ・教職員の兼職・兼業を認めると、時間外勤務は増えるが、果たして認められるのか。（本業を圧迫しない基準は示されるのか。）

5 今後に向けて

- ・既にスポーツ団体には実施した情報提供を文化団体にも行う。
- ・部活動の希望調査状況と既に配置されている外部指導者の状況を把握する。
- ・部活動あり方検討委員会に向けた準備を進める。（要綱策定、委員選定等）
- ・次年度以降、種目・競技を限定し、先行実施することを検討する。